

清和中便り

令和6年6月14日
文責 校長 山本祥博

豊かな土壌に花は咲く

毎日、正面玄関横の色鮮やかなつつじが元気よく迎えてくれます。また、体育館横のあじさいも日一日と大きくなり、また違った色と姿で楽しませてくれます。



(あじさいの色は育った土の状態(酸度)によって変わること最近知りました。)今年もあじさいとともに梅雨が、そして終わる頃には猛暑の季節が来るのかなと思っています。

昨日、今日と期末テストが行われました。テストを受ける子供達を見回ってみ



ましても全員真剣に黙々と取り組む姿がありました。朝の登校指導をしていてもいつもの登校時間より早く来る生徒がいました。「テストまでの朝の時間を頑張る！」そんな思いが伝わってきました。子供達に身に付けさせたいひみつのか(☑)人と関わる力 (☑)自ら学ぶ力 (☑)伝え合う力)の☑の力を伸ばす機会です。結果も大切ですが、努力すること、最後まであきらめないこと、自ら学ぶ習慣を身に付けてほしいと思います。

人権教育推進会議で学んできました

先日、人権教育推進会議という研修会が開催され、出席いたしました。広島県の盈進(えいしん)中学高等学校の延校長先生、部落解放同盟熊本県連合会書記長の秦竜也さんの講演と4人グループでの協議を行いました。延校長先生の話の中であった「最も大切なのは感性、差別を見抜く目と心、正しく知って正しく行動する」「豊かな土壌に芽が吹き、実がなり、花が咲く。子供も同じ」その実践力、指導力に感服すると共に自分がやるべきことやれることは何か本当に考えさせられました。話の中でこんな言葉もありました。「学校で差別に対する正しい認識を学んで帰っても家や近所で差別につながる『ふとした一言』、社会で出会う『差別につながる心ない言葉や行動』に負けてしまうこともある。」子供達の感性は豊かで日々あらゆることから吸収しています。「人権学習こそ学校だけでなく、家庭、地域、社会が一体となって同じ思いで進めていかなければならないこと。そして、子供達がこれから出会うかも知れない誤った考えや不合理なことに対して自分の意見をしっかりと持ち、正しい理解、行動ができる人を育てなければならぬこと。」を強く感じました。

本校も今週から人権旬間に入り、人権学習に取り組んでいます。7月には「人権集会」を行い全校生徒で学びを共有します。人権教育はすべての教育活動さらにすべての生活の中で学び、身に付けるものです。子どもが学んできたことをぜひ聴いていただければと思います。豊かな土壌をともに作っていきましょう。